

経営比較分析表（令和5年度決算）

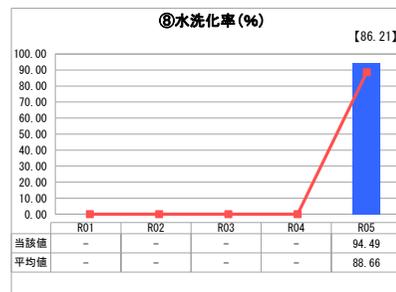
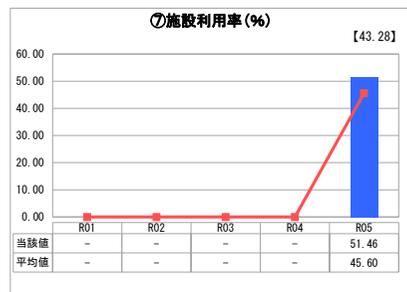
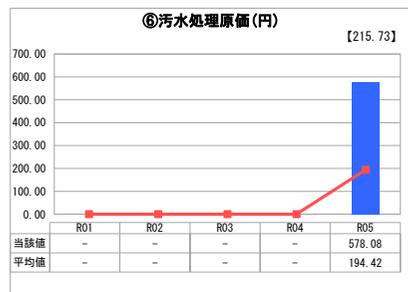
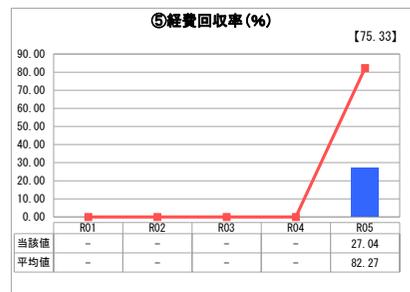
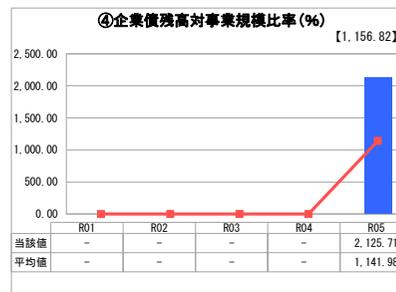
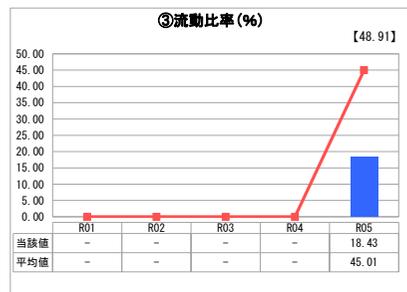
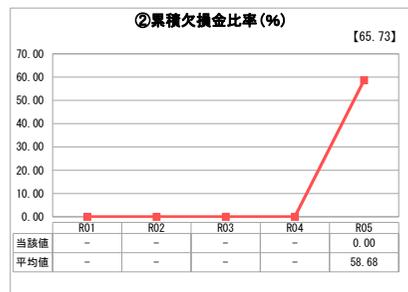
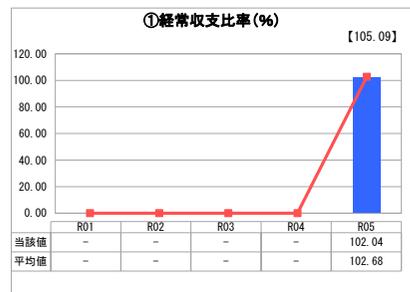
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	87.94	23.59	537.02	3,115

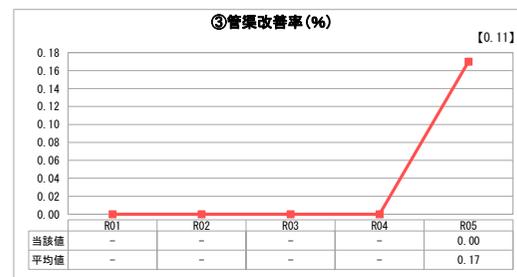
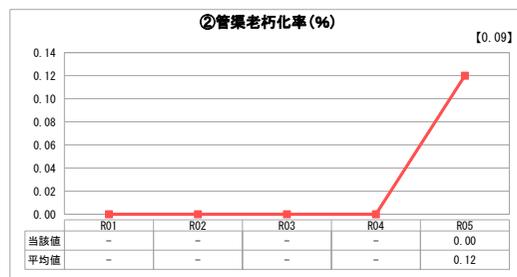
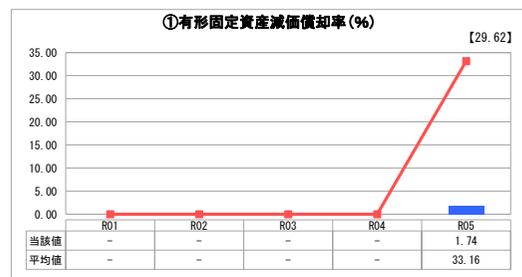
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,151	144.21	91.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,066	1.85	1,657.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算について、法適用初年度のため、表示されている値での分析は不可能である。
 経費回収率については、維持管理費（修繕費）の増加により低くなっている。適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努める必要がある。
 汚水処理原価については、老朽化による修繕費が増加したことによる増加が見受けられる。今後さらなる適正な維持管理に努めるとともに、下水接続率の向上に取り組む必要がある。
 施設利用率については、今後も人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。
 水洗化率については、ほぼエリア全域に普及しているが、一部未接続があり、さらなる普及促進に努めていきたい。類似団体と比較して、高い水準の理由として、下水道事業への早期取組が要因と考えられる。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年では管渠の更新等の実績がありません。今後においては、管渠の更新計画の策定を実施し、長期的な視点で検討する必要があります。

全体総括

経営の健全化に向け、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、料金の適正な設定及び改定を検討する必要がある。なお、施設の老朽化による改築更新等に備え、処理場、管渠等の長期的な更新計画の策定を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。